

会議の名称	松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 第3回会議
開催日時	2015年11月10日(木) 午後 2時 00分から 午後 3時 30分まで
開催場所	松伏町役場本庁舎3階 第二委員会室
出席者	(審議会委員) 敬称略 松伏町商工会会長：小島 朗 埼玉県東部地域振興センター所長：佐藤 正信 大正大学地域連携推進部部长：佐藤 徹明 埼玉りそな銀行越谷支店支店長：鈴木 正広 越谷公共職業安定所所長：飯野 哲義 埼玉新聞社取締役クロスメディア局長：宮下 達也 公募委員：古屋 由美 公募委員：田村 笑 松伏中学校PTA会長：石原 みどり (松伏町) 企画財政課長：立沢 昌秀、新市街地整備課長：齋藤裕之、 企画財政課主幹：目黒 健二、企画財政課主任：末次 雄一郎、 企画財政課主事：栗原 嘉顕 (策定支援業者) 岡田 洋、川村 健人、樋口 智哉
欠席者	吉川青年会議所理事長：程田 幸秀
議題 (次第)	1 松伏町人口ビジョンについて 2 松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略について 3 その他
配付資料	・次第 ・資料1-1 松伏町人口ビジョン(パワーポイント) ・資料1-2 松伏町人口ビジョン(案) ・資料2-1 松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略(パワーポイント) ・資料2-2 松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案) ・資料3 埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)
主管課	企画財政課

進行者・発言者	発言内容・決定事項等
<b>議題1 人口の将来展望と総合戦略の方向性について</b>	
事務局	<p>(人口ビジョンについて資料1及び3を用いて説明。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口ビジョンは、町における人口の現状を分析し、今後町が目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するもの。</li> <li>・人口ビジョンの構成は、人口動向の分析、将来人口の推計、住民意識調査の結果、目指すべき将来の方向性や人口の将来展望など、町の人口に関する様々な基礎データとその分析結果で構成されており、総合戦略を策定するための資料集的な要素が強い作りとなっている。</li> <li>・国立社会保障人口問題研究所(社人研)では、2060年には、町の人口は約2万人程度まで減少し、少子高齢化に伴い高齢化率が40パーセントまで上昇すると見込まれている。</li> <li>・松伏町の人口減少の課題をまとめると次のように挙げられる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①人口減少の本格化とその長期にわたる継続</li> <li>②出生数の減少による顕著な少子化と人口バランスの喪失</li> <li>③周辺市等への転出超過の継続</li> </ul> </li> <li>・課題解決のため、各種データ分析結果を踏まえ、人が町外に流出しないようなひとの定着、町を多くの方に知ってもらい、将来住む場所の候補地として選んでもらうための交流人口の増加、そして最終的に住む場所として選んでもらうための人の吸収が必要。</li> <li>・前回の会議では、合計特殊出生率が国県と同じペースで上がり、市町村間の移動率が社人研の想定よりも回復したと仮定した推計4 23,664人を2060年に目指す旨、説明済みである。</li> <li>・先日、埼玉県は最終的な示し方として、目標人口を定めず、可能性がある3パターンの表示に留める記載方法へと内容を変更した。</li> <li>・国からは、人口ビジョンの策定にあたり、県と市町村の内容に整合性をとるよう要請されていることから、町でも、将来人口の記載については、具体的な目標値人口を定めず、こちらパワーポイントのような5パターンの推計値を列挙する方法で掲載させていただきたい。</li> </ul> <p>(推計パターンについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2060年の推計人口として、推計1は社人研の推計値である20,213人。</li> <li>・推計2は、市町村間の移動率が現在とほぼ同様の状況で、出生率が国県同様に上昇した場合は21,707人となる。</li> <li>・推計3は出生率が現在とほぼ同様のまま推移し、移動率がファミリー層の呼び込みにより改善した場合は、22,022人となる。</li> <li>・推計4は出生率が国・県と同様のペースで上昇し、移動率がファミリー層の呼び込みにより改善した場合で、23,664人となり、これを前回の会議では</li> </ul>

	<p>目標値とする旨説明したところ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推計 5 は国県が目指す出生率と全く同じ時期に出生率上昇を達成し、移動率がファミリー層の呼び込みにより改善した場合は、25,069 人となる推計線。</li> <li>・具体的な数値目標の記載は控えるものの、政策を打つにあたり目指すべき部分は、あくまで 23,664 人を旨とするという方向性は変わらない。</li> <li>・本日確認いただきたいのは、最後の将来人口の展望の示し方について、埼玉県と記載方法を併せた 5 パターンの列挙記載とし、松伏町では、人口減少対策を施し、このグラフが示す範囲の中で人口が変動する旨を記載することとし、前回説明した具体的な目標人口記載を控えることという案で人口ビジョン案としてよろしいか伺いたい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 1-1 4 ページについて、人口推計パターンとして、やはり目標となる数字は決めておくべきでは。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅を持たせた推計パターンを示しているが、実質の目標値は推計 4 で示した 23,664 人と考える。</li> <li>・現在の出生率について、町の数字が 1.05 となっているのに対し、国・県の数字は 1.4 前後となっており、乖離が生じている。</li> <li>・そのため、国・県に追いつく想定推計 5 (25,069 人) を目指すのは難しい。</li> <li>・そこで、人口ビジョンの計画書では幅を持たせた推計パターンを示しているが、出生率については国・県同様の上昇率を想定し、移動率については総合戦略の実施により改善を見込む。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、人口推計としては幅を持たせ、目標値は推計 4 で示している 23,664 人とするビジョンでよいか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日欠席の程田副会長より、人口ビジョンについて事前に意見を伺っている。「人口が減少することは間違いない。人口ビジョンの作成に当たっては、人口減少に対する町民の理解を得ていく必要がある。」とのこと。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口ビジョンの内容と推計パターンについて、本日の案をもって最終調整に入ってもよいか。</li> </ul>
一同	承認
<b>議題 2 松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略について</b>	
事務局	<p>(今年度実施している地方創生先行型事業について報告。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生先行型の交付金については、上乗せ交付分があり、申請・採択された自治体に対し 10 分の 10 補助、事業費に対して全額補助が出る。町においても、「地域公共交通資源と道の駅の制度を活用した公共交通強化事業」として提出していた事業が 10 月 27 日に 2,000 万円の内示を受けた。</li> <li>・交付金を活用して、バスターミナル・道の駅に関する調査研究を今年度中に行う予定である。</li> <li>・「地域公共交通資源と道の駅の制度を活用した公共交通強化事業」(資料 2-1 3 ページ) について、他の地方創生先行型の事業と一緒に、現在策定中</li> </ul>

	<p>の総合戦略に掲載することとなり、あわせて重要業績評価指標 KPI の評価を年度末の審議会で行ってもらうこととなる。</p>
事務局	<p>(松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について資料2-1を用いて説明。)</p> <p>(5年間の基本理念と4つの基本目標について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短中期的な期間で町の総合的な取り組みを示す「総合振興計画」に対し、長期的な町の展望を示す「人口ビジョン」と、人口減少等への対応に特化した5年間の短期的な戦略を示す「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、今後、各計画を見直しながら戦略的に町の創生を図っていく。</li> <li>・人口ビジョンでは長期的な課題を抽出したが、その中から直近5年間で取り組むべき課題を整理し、それに対応する総合戦略を策定する。</li> <li>・人口減少に歯止めをかけるには、子育て世代を中心としたファミリー世帯をターゲットとして、定住や呼び込みを図ることが有効であり、そのためには、この5年間で、まずは松伏町を知ってもらい、転入を判断するときの候補となるよう、また、今現在町に住んでいる世帯の満足度を向上させ、転出を抑制することが求められる。</li> <li>・これらの観点から、5か年戦略の基本理念を「交流人口を増やす魅力づくりと町民満足度の向上」とした。</li> <li>・人口ビジョンにおける問題解決の視点をこれまで「町の強みを活かし、弱みを克服し、魅力を宣伝する」とご案内してきたが、これらと、この5か年戦略の基本理念のもと、国の総合戦略に則った4つの基本目標を定めた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①しごと：魅力ある働く場を確保する</li> <li>②ひと：新たにひとを呼び込む魅力を発信する</li> <li>③子育て：自然環境の良さを活かして、子育てや暮らしの環境を向上させる</li> <li>④まち：町民ニーズに合った、生活利便性が向上するまちをつくる</li> </ul> </li> </ul> <p>(戦略の構成について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これらの基本目標ごとに、基本目標に対する数値目標を設定する。</li> <li>・各目標に施策を定め、KPI 重要業績評価指標を定める。</li> <li>・各施策の中に、実施する具体的な事業が位置付けられる。</li> <li>・複数の基本目標に該当するような事業は再掲として掲載。</li> <li>・内部管理として、各課の各事業単位で活動指標を設定する。</li> <li>・活動指標とは、イベントの実施件数やアンケートから参加者の満足度など、補助的な事業でいえば、対象者への補助件数などを設定する。</li> </ul> <p>(総合戦略掲載事業の実施と新年度の交付金について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本総合戦略には、各基本目標と施策のもと、先行型含め27事業（再掲含め</li> </ul>

	<p>ると延べ43事業)を掲載しているが、5年間でこの全てを必ず実施できるものではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度以降の国・県の補助金等の情報も明らかになっていないなか、事業の実施にあたっては、町の財政状況との兼ね合いを検討することや、補助金等の申請条件によっては、事業のパッケージ化や細分化もあり得るものをご理解いただきたい。</li> <li>・平成28年度の地方創生に関する国の交付金に関しては、その内示スケジュールも示されていないが、事業採択された場合は2分の1補助となる見込。</li> </ul> <p>(本総合戦略の重点施策について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5次総合振興計画における土地利用構想では、東埼玉道路と浦和野田線の結節する松伏インターチェンジ周辺の「新市街地整備」と老人福祉センターとその周辺の「北部地区の拠点」の2つを土地利用構想のなかでも「活性化推進地区」として位置づけている。</li> <li>・こうした土地利用構想は流入人口の受け皿の観点からも大変重要であることから、本総合戦略においても、新市街地の整備と北部の活性化を、土地利用構想に関する重点施策として位置づけ、「新市街地整備プロジェクト」及び「まつぶし北部活性化プロジェクト」として推進していく。</li> </ul> <p>(総合戦略の進行管理について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こうした総合戦略の推進に当たっては産官学金労言そして住民と連携を図りながらPDCAサイクルにより進行を管理していく。</li> <li>・今年度策定する戦略以後6年目以降については、引き続き交流人口の増と転出の抑制を図り、学生世代にとっても住み続けたい、定住してもらいたいと思えるような施策や、Uターン転入を促すような施策を推進していく。</li> <li>・本総合戦略は5年ごとに見直すことを想定しているが、町を取り巻く情勢により随時見直すものとする。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各立場から素案について意見を伺いたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の議論の内容がバランスよく入っている。特に「まち」の内容は町の高齢化の状況を踏まえた戦略になっていてよいと思う。</li> <li>・松伏町はゴルフの石川遼選手、バレーボールの石島雄介選手、エスビー食品の創業者等(エスビー食品陸上部はマラソンの名門)、健康・スポーツに長けている著名人を多数輩出している。</li> <li>・この特徴を活かして、健康・スポーツを盛り込んだ施策をもう少し前面に出して、コンテンツ開発をしてみてもどうか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「松伏町にしかできないこと」を特色にして、押し出していく方向性で検討してもらいたい。</li> <li>・資料2-1 6ページの土地利用構想に関する重点施策について、「新市街</li> </ul>

	<p>地整備プロジェクト」の方はある程度想像がつくが、「まつぶし北部活性化プロジェクト」の方はイメージがしづらい。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部地区とは築比地、金杉、魚沼、大川戸地区をさす。</li> <li>・北部地区に位置する金杉小学校は現在6学年8学級となっており、4年生、6年生が2学級あるほかは、各学年1学級のみとなっている。今の4年生が卒業してしまうとクラス替えができなくなってしまう。</li> <li>・現在策定中の「松伏町教育大綱」において、金杉小学校では「特色ある学校づくり」に取り組む予定となっており、「ICT教育の推進」を考えている。</li> <li>・北部地区では市街化調整区域となっている土地が多く、住宅が建てられないこともあり、北部地域への居住促進も事業パッケージの1つとして検討している。</li> <li>・以上を踏まえ、「まつぶし北部活性化プロジェクト」として、老人福祉センター・農村トレーニングセンターを拠点とし、多世代交流や行政サービスの拡充を行っていく予定である。</li> <li>・また、魅力づくりとして、「地域資源を活用した特産品開発事業」に取り組む予定であり、事業実施にあたっては産・官・学・言と連携していきたいと考えている。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金杉地区は江戸川の河口から見て、最初に土手と同じ高さになっている地区であり、水災害が起きた際も安全を保てる貴重な地域なのではないか。</li> <li>・地形や地域の特徴を捉えた戦略を打ち出してほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『多様な働き方実践企業』認定推進事業（資料2-1 2ページ）については、埼玉県でも各自治体とともに企業に働きかけをしている。</li> <li>・元気な高齢者によるまちづくりの視点について、県でも「シニア革命」ということで、高齢者の経験を活かした取組を検討している。</li> <li>・「地域多世代交流サロン設置支援事業」（資料2-1 4ページ）は高齢者にも協力を仰ぐ視点が入っており、ありがたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとを呼び込む施策について、最近ではSNSが普及しているが、SNS等を活用した取組はあるのか。</li> <li>・スマホの普及を視野に入れた取組があるとよい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町では現在ホームページ、Facebook, twitter、登録者へのメール配信といった媒体によって情報発信を行っているが、アクセス数は伸び悩んでいるのが現状である。</li> <li>・今後、大正大学等と連携して、「若い視点から見た松伏」をPRしていきたいと考えている。</li> </ul>
事務局	<p>本日欠席の程田副会長より、総合戦略について事前に意見を伺っている。「町の現状を踏まえ、交流人口の増加よりも、転出を抑制することに重点がおかれており、良い方向性だと思う。町民の満足度を上げていくことが、ひとの呼び込みにもつながっていくのではないか。」</p>

会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出た意見を踏まえ最終調整をしたのち、パブリックコメントとして公表する。</li> <li>・パブリックコメントや今後の流れについて、事務局から説明をお願いしたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメントについては12月中下旬頃から1カ月間の実施を予定。</li> <li>・公開方法としては、町のホームページへの掲載や、公共施設に冊子を置く。</li> <li>・パブリックコメントで出された意見については、対応を検討した上で、2月の審議会の際に明示し、最終案としてまとめる予定である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PRの戦略について、松伏のイメージを出さないといけない。まち・ひと・しごと・子育ての4つの施策をつなぐキーワードとして、「健康」を押し出した施策の展開を広げてみてはどうか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康な」高齢者をいかに増やすかということも1つのキーワードとして、特色になりうるのではないか。埼玉県内で一番にすることは可能では。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代は地価が安いことを理由に転入した人が多い。子育て経験があまりない核家族や松伏町に新たに転入した人にとって、交流の場が増えることは良いことだと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流人口はどのようにして増やすのか、ということに興味がある。豊島区の委員を兼ねていることもあり、複数の大学や自治体間にまたがって、交流を増やすことも可能かもしれない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代としても理想的なことが記載されていると思う。できるだけ行動を伴ったいい方向に進むことを願っている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワークとして協力できることがあれば協力していきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSを活用した取組について、幼稚園や美容室を利用した生の声や新聞を取っていない人向けのチラシ等を盛り込んでみたら効果的だと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見の盛り込みを検討する。</li> <li>・事業については、来年度以降の補助金に関する国の方向性が不明確であり、場合によっては事業のパッケージ化や細分化をする可能性がある。</li> <li>・出た意見や文言の調整については今後事務局での修正または会長への相談という形で対応したい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見が出そろったようである。パブリックコメントに向けた最終調整に入っ てよいか。</li> </ul>
一同	承認
<b>議題3 その他</b>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の開催は2/23(火)同時間を予定している。</li> <li>・次回はパブリックコメントを踏まえた最終案を提示する予定である。</li> <li>・問い合わせがあれば事務局をお願いしたい。</li> </ul>